

## 第2章 鹿児島県のがんの状況

### 1 罹患の状況

#### ■ 最新集計について

##### (1) 集計の期間

罹患年月日が令和3年1月1日から令和3年12月31日（2021）までの1年間

##### (2) 罹患年月日の決め方

ア 届出，遡り調査による登録例は，初めて当該がんと診断された年月日

イ 届出が無く死亡者情報票によってのみがん罹患が判明した例は，死亡年月日

##### (3) 集計の対象

ア ICD-O-3分類の性状2（上皮内），3（悪性，浸潤性）で示される新生物

イ DCI症例については，原死因かつ，ICD-10のCコード，「髄膜ならびに脳脊髄および脳神経系その他中枢神経系」の腫瘍に対するDコード（1票につき1件）

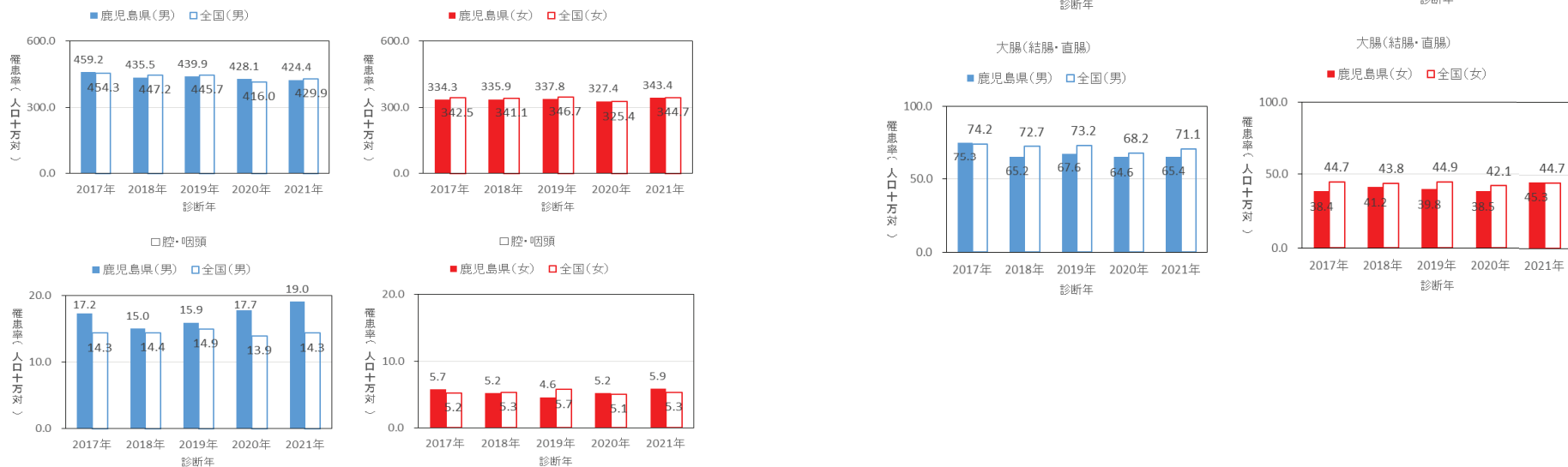
##### (4) 令和3年（2021）罹患症例（全部位）における登録精度

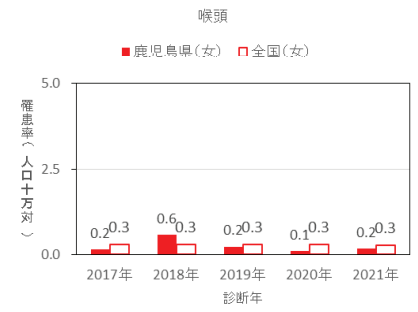
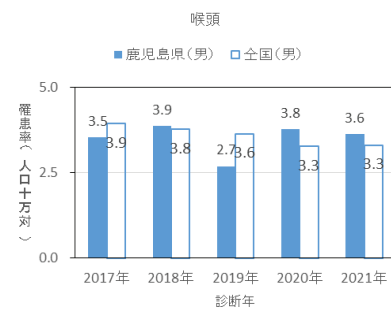
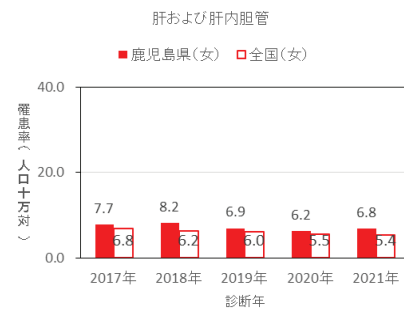
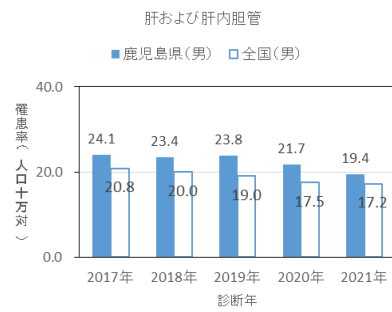
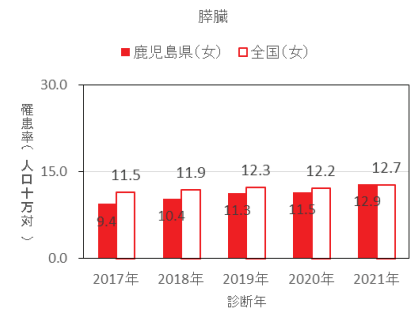
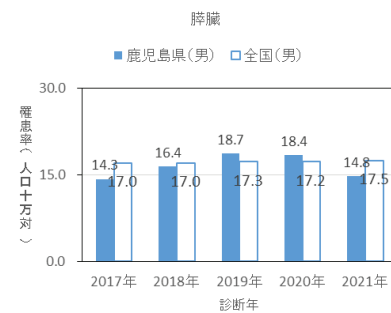
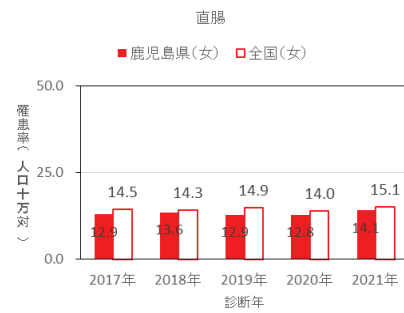
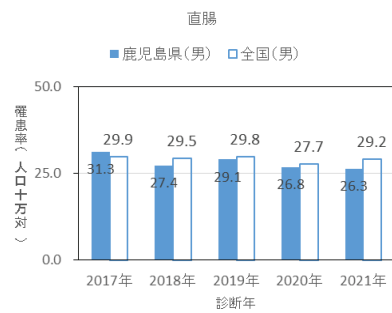
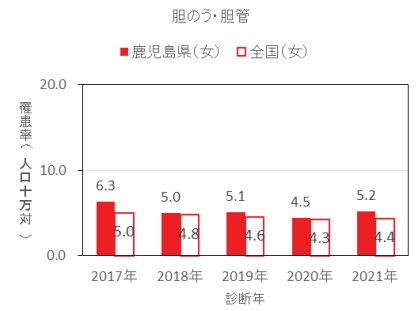
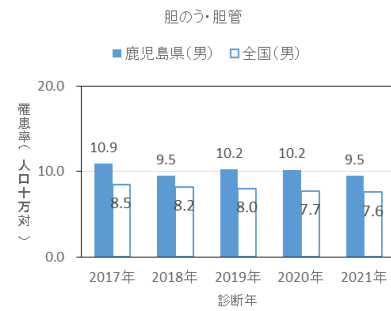
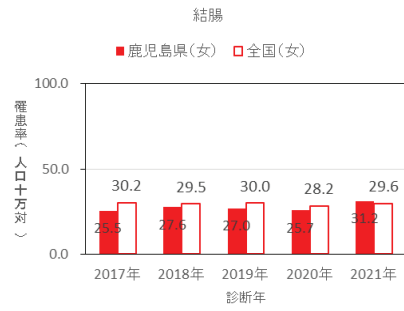
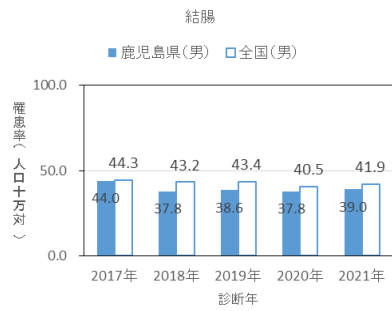
DCI：4.5%    DCO：2.8%    M/I：0.40

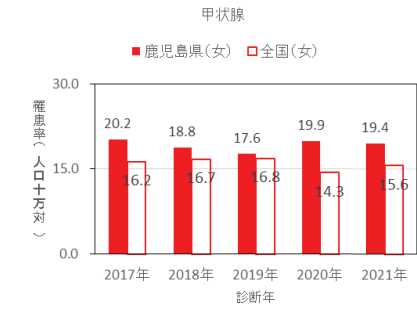
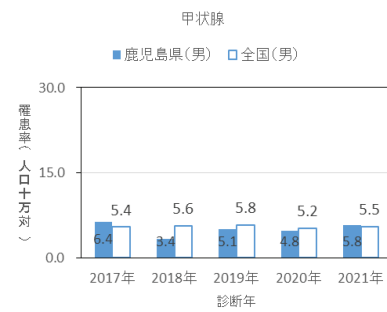
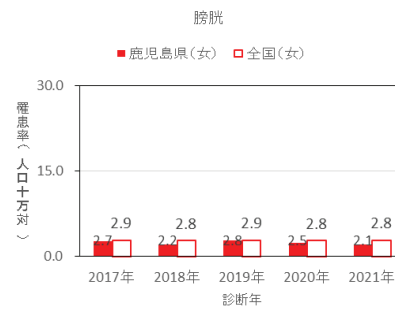
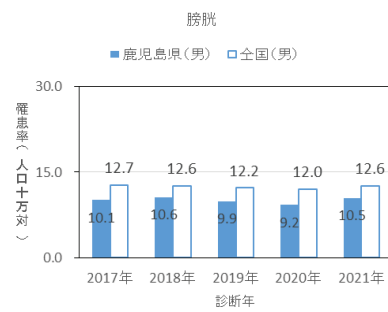
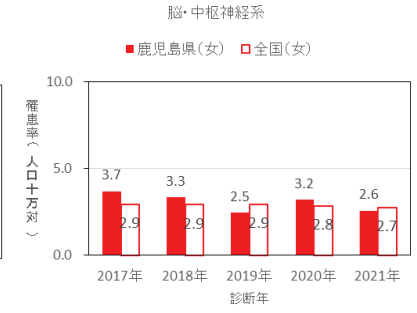
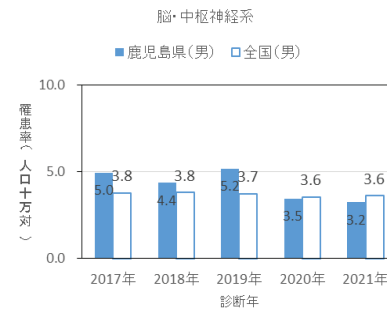
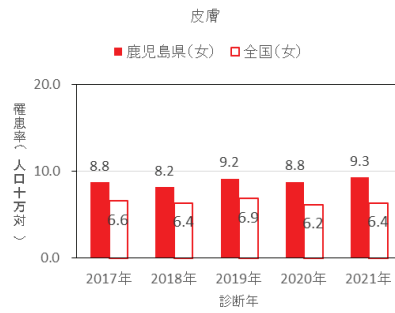
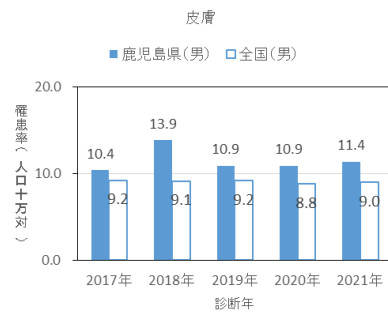
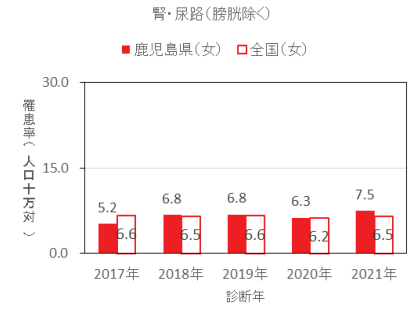
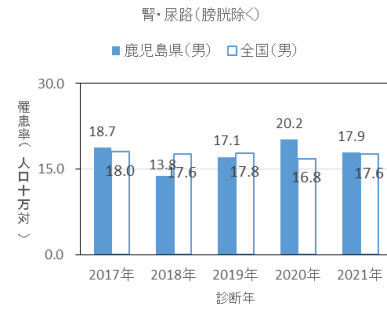
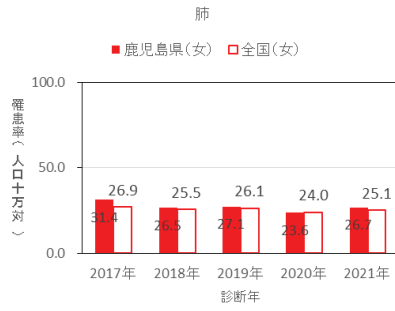
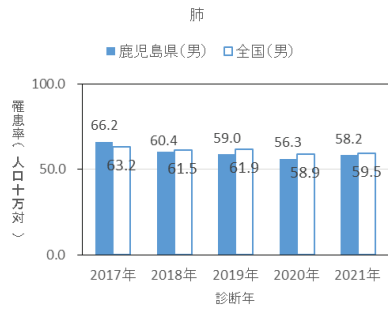
#### ■ 罹患の年次推移

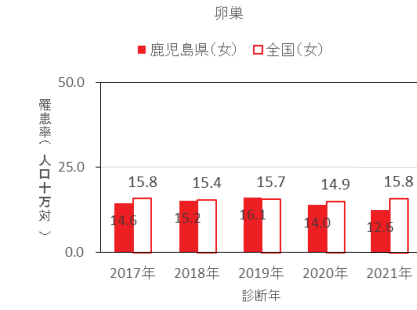
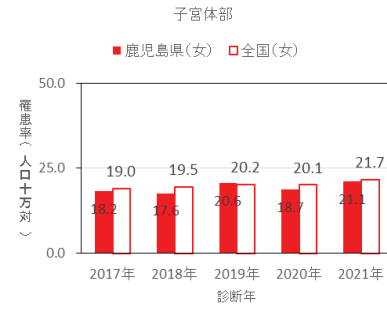
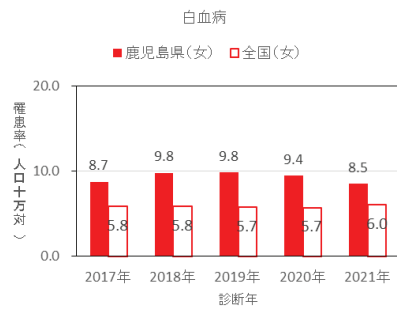
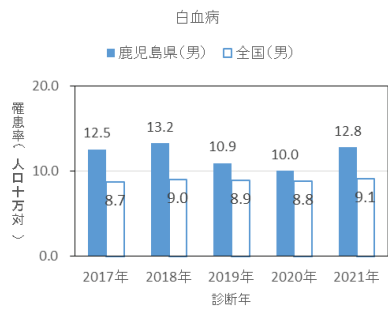
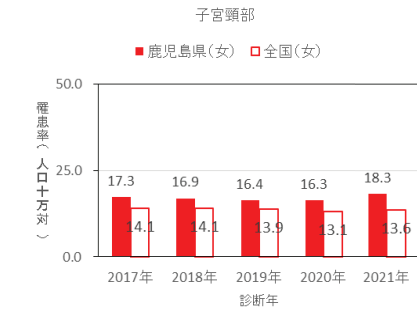
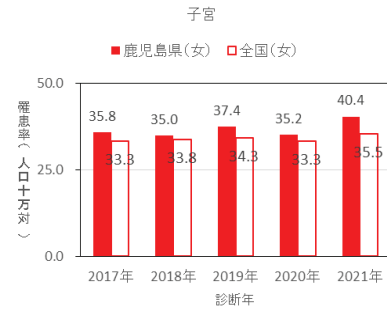
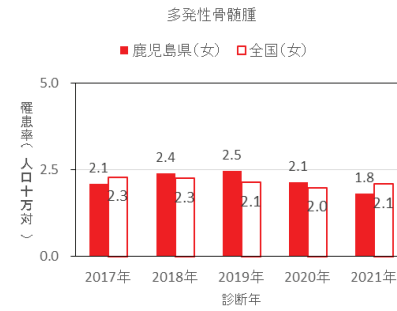
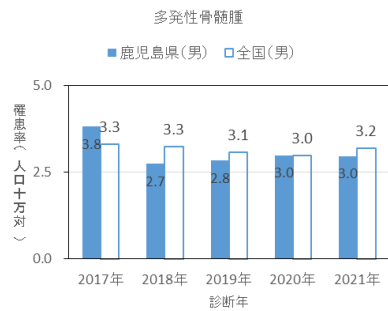
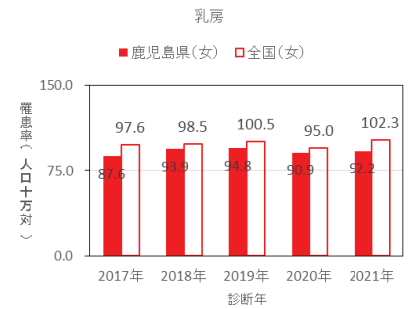
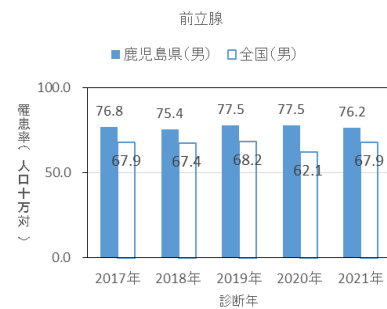
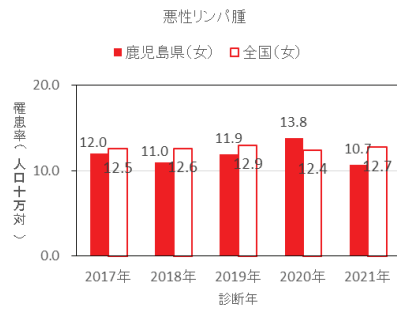
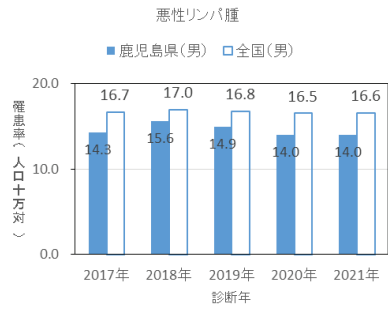
平成29年（2017）から令和3年（2021）の年齢調整罹患率を年次推移で図示します。

図2 年齢調整罹患率の年次推移（人口10万対）（上皮内がんを含まない）：集計表1-Aから作成全部位





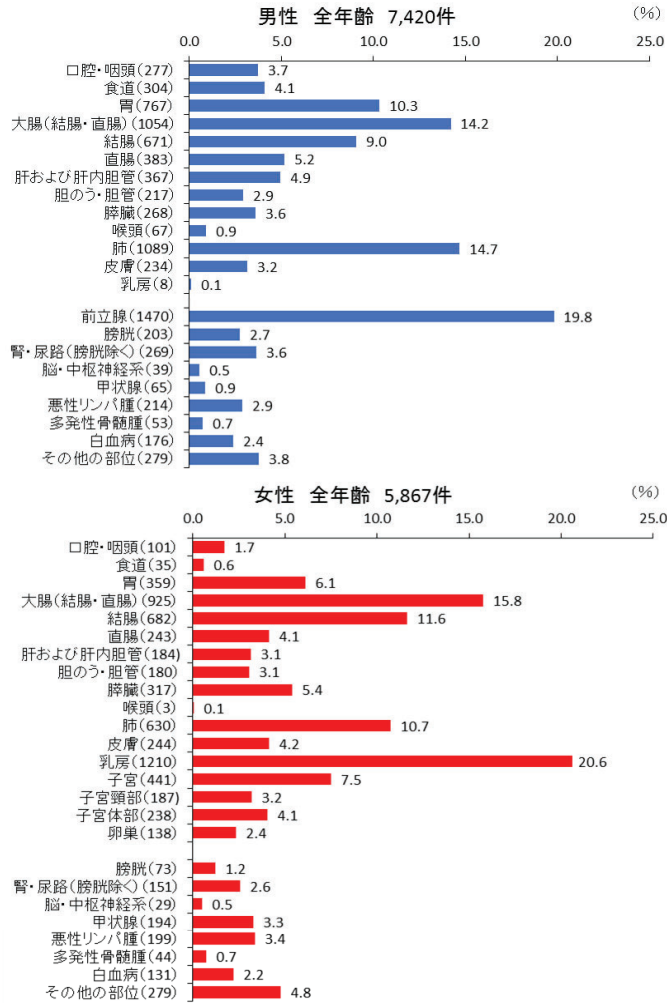




■ 罹患の部位内訳

令和3年(2021)に鹿児島県では、男性7,420件、女性5,867件、合計13,287件(性別不詳含む)のがんが、新たに診断されました。男性では前立腺がんに続き、肺、大腸、胃が多く、女性では乳房に続き、大腸、肺、子宮が多くなっています。(図3)

図3 部位内訳(%) : 集計表1-Aから作成



■ がん罹患率の全国との比較

年齢調整罹患率を鹿児島県と全国と比較すると、男性で前立腺、女性で子宮が全国の値を上回り、肝および肝内胆管、胆のう・胆管、白血病は男女共に全国より高値です。胃は男女共に低い値になっています。(図4)

図4 部位別がん年齢調整罹患率(人口10万対) : 集計表1-Aから作成

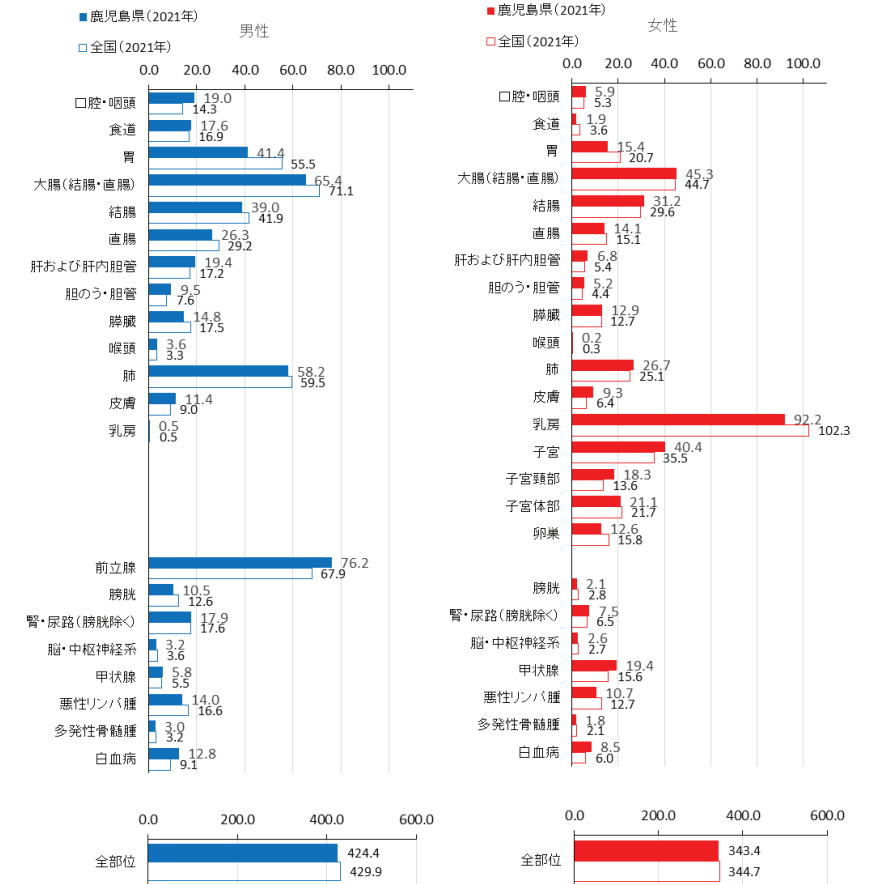
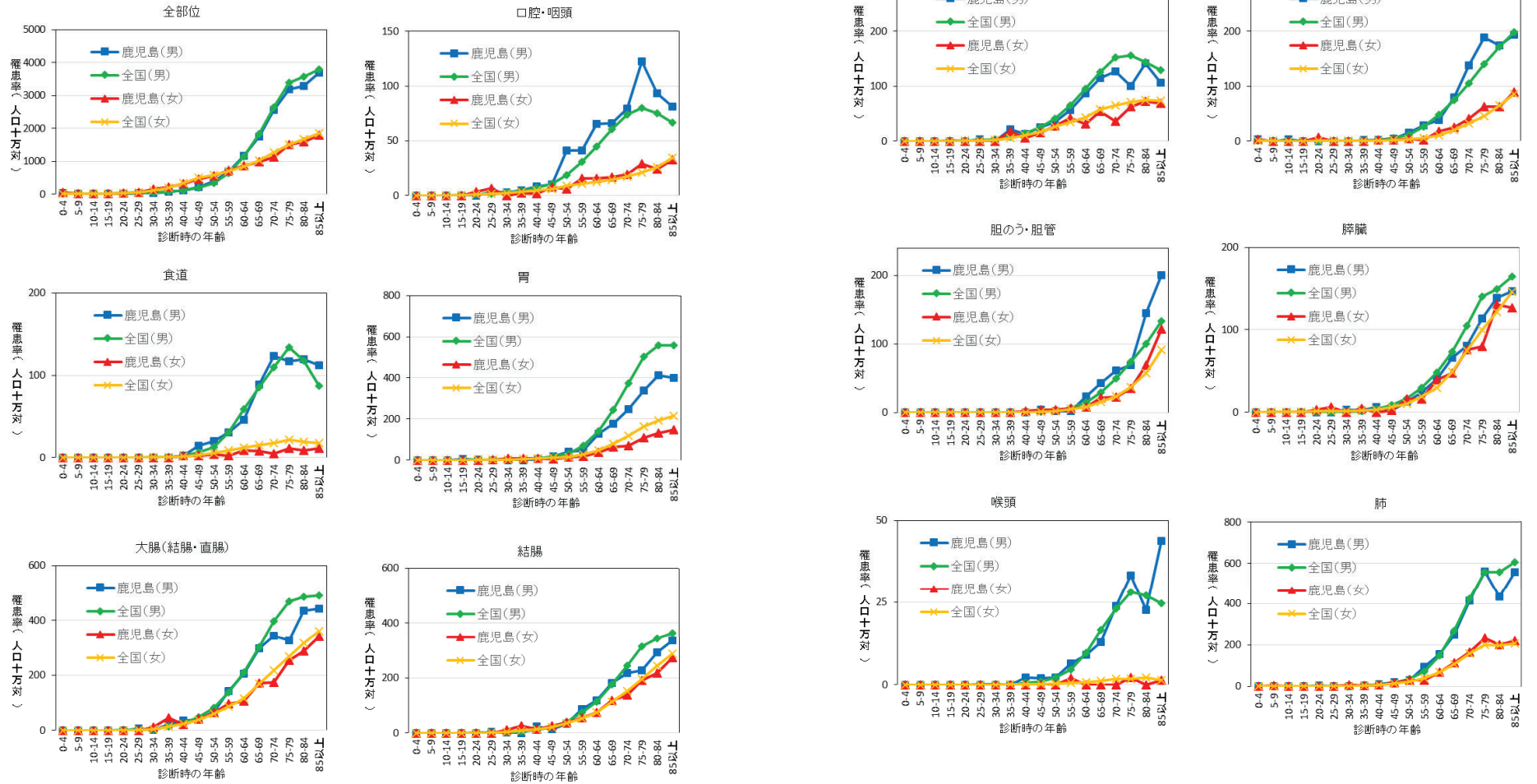
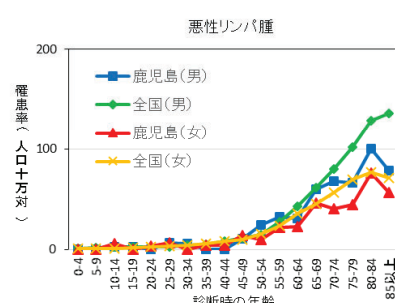
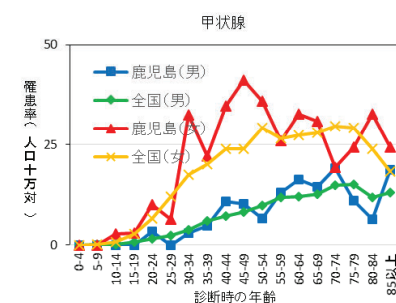
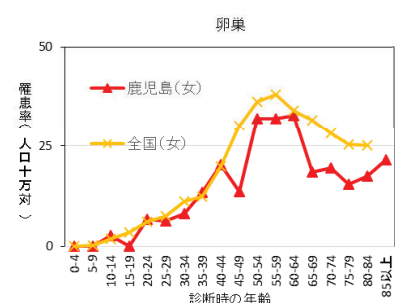
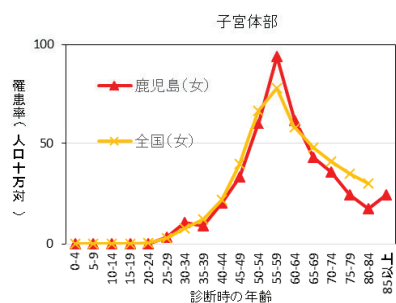
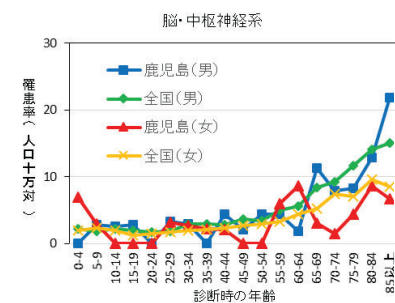
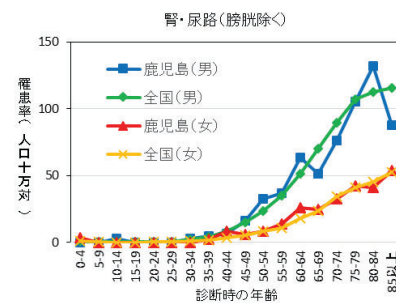
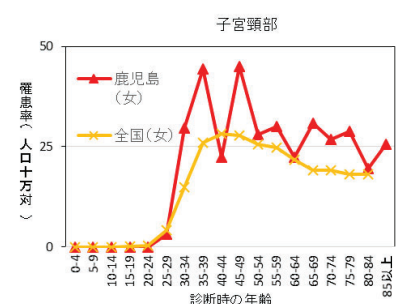
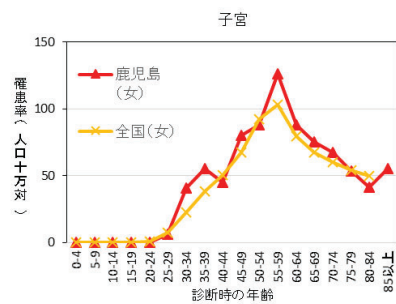
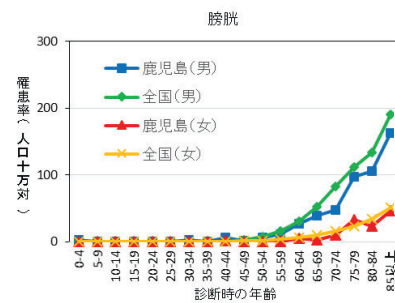
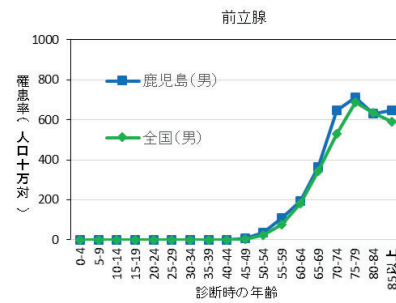
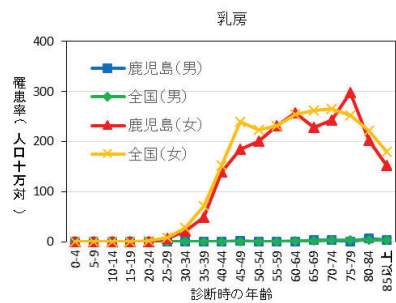
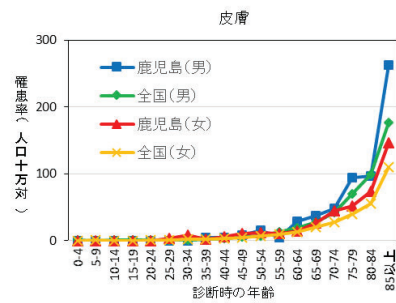


図5 部位別年齢階級別罹患率（人口10万対）（上皮内がんを含まない）：集計表3-2-Aから作成





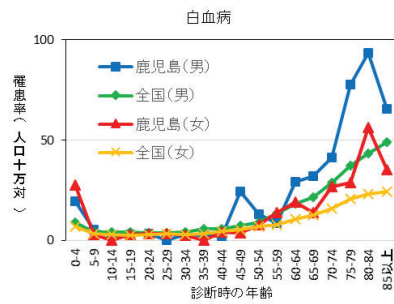
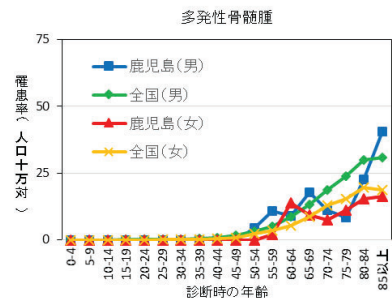
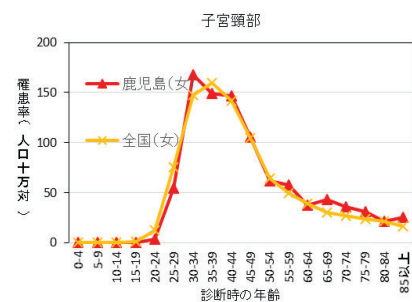
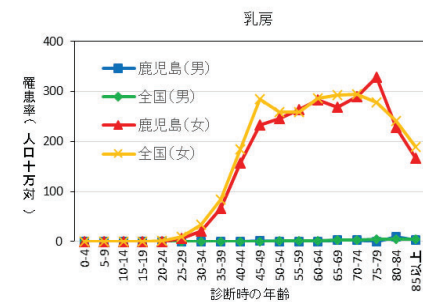
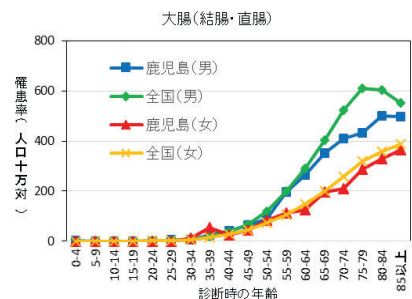
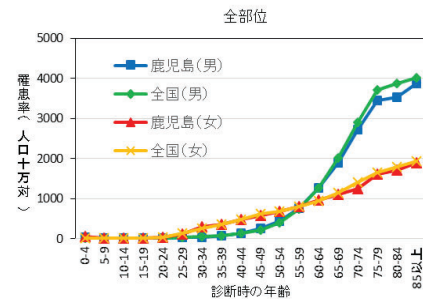


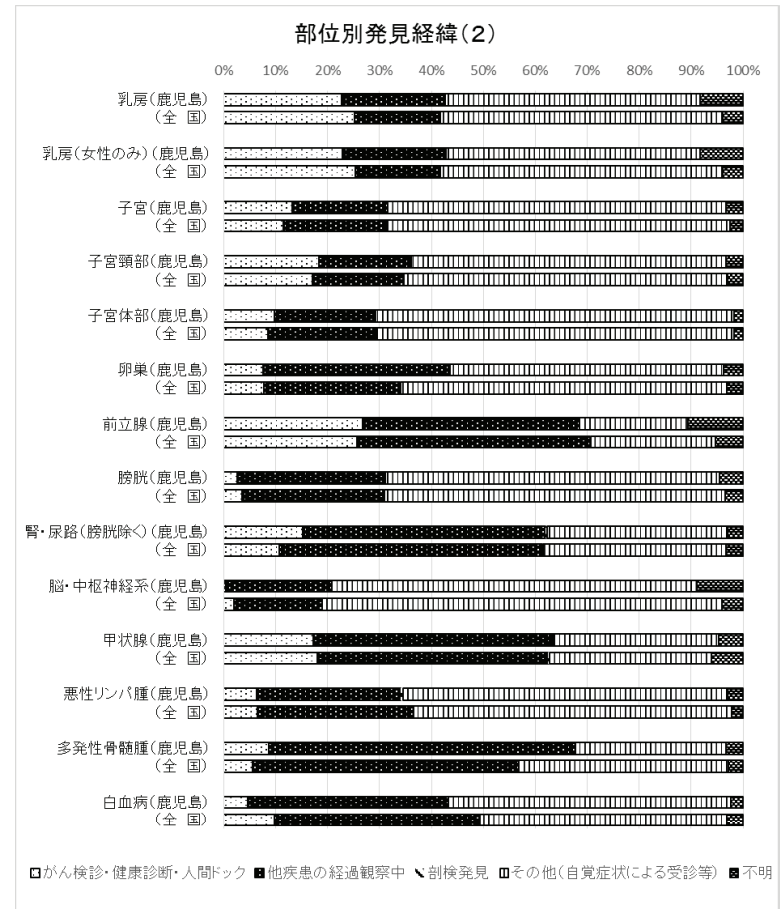
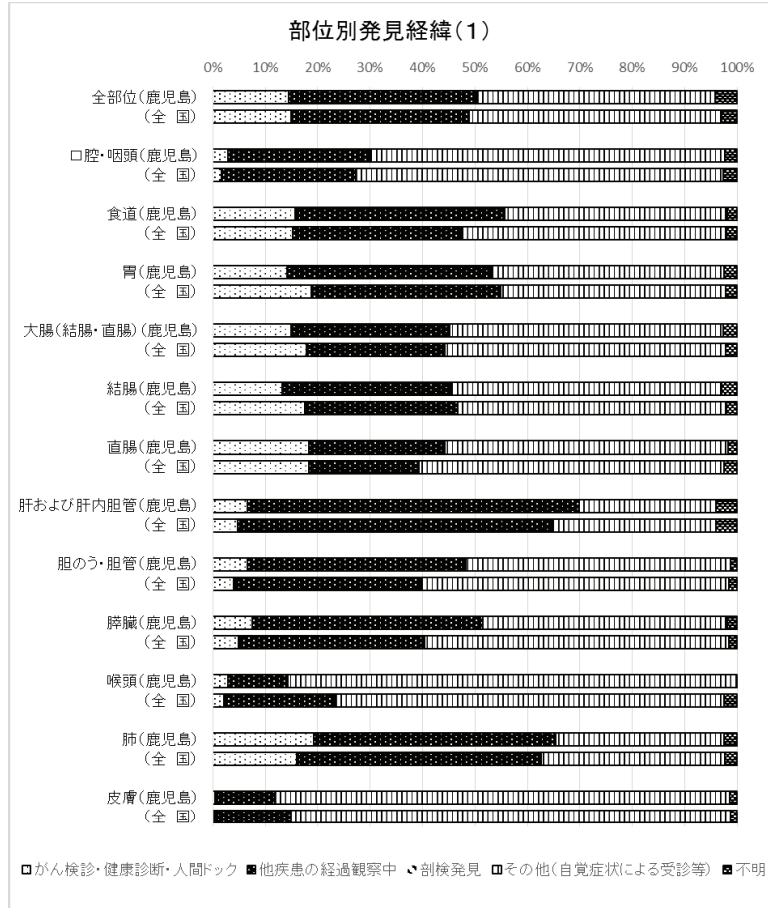
図6 部位別年齢階級別罹患率（人口10万対）（上皮内がんを含む）：集計表3-2-Bから作成



■ 発見経緯

対策型がん検診が行われている胃、大腸（結腸・直腸）、肺、乳房、子宮頸部において、がん検診もしくは健康診断や人間ドックが発見の契機となった症例の割合は、胃14.1%、大腸14.9%、肺19.3%、乳房22.7%、子宮頸部18.3%です。（上皮内がんを除く）何らかの症状による医療機関受診は、その他に含まれます。

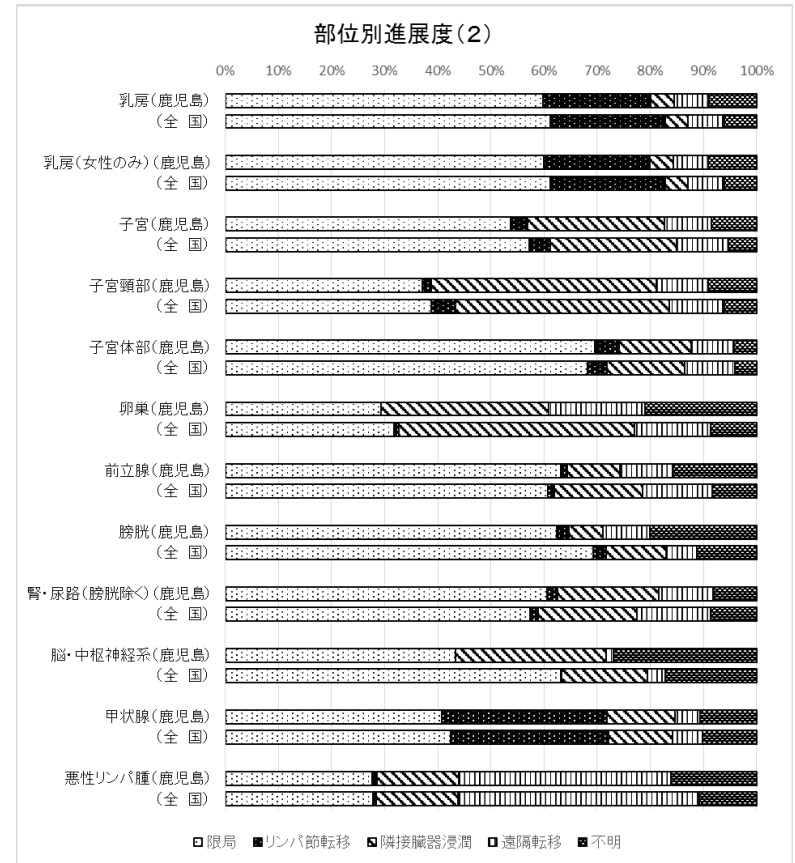
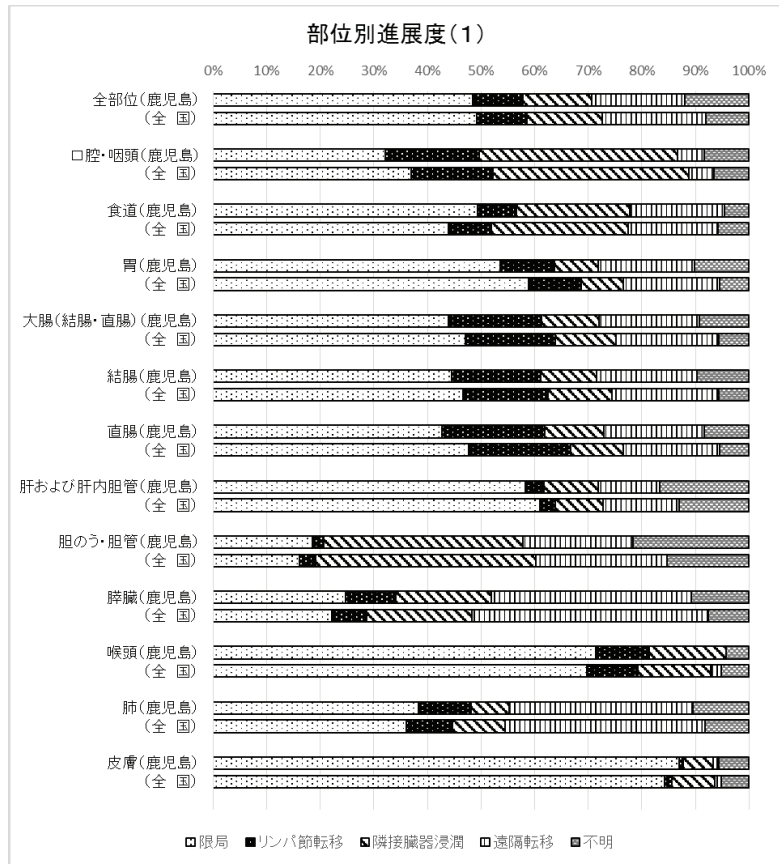
図7 部位別発見経緯（対象はDCOを除く届出患者）（%）：集計表4-Aから作成



■ 進展度

胃, 大腸 (結腸・直腸), 肝および肝内胆管, 乳房, 前立腺においては, 発見時の進展度が限局的割合が高くなっています。一方, 肺は, がん検診が実施されている部位にも関わらず, 発見時に遠隔転移があった割合も高くなっています。

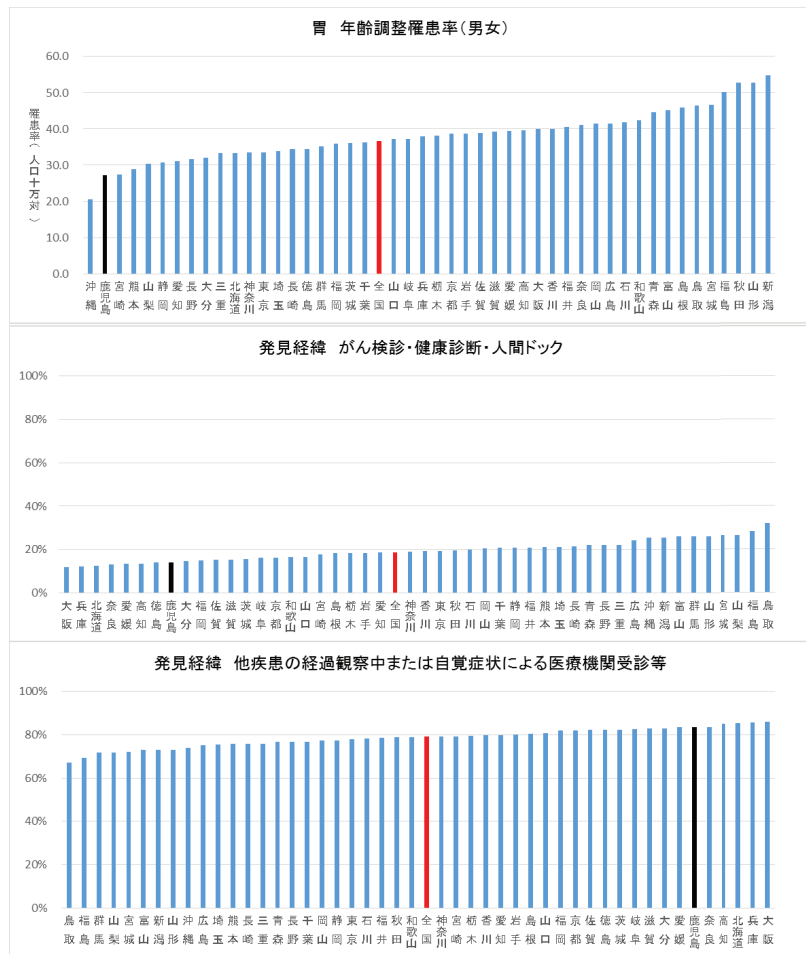
図9 部位別発見時の進展度 (%) (対象は DCO を除く届出患者): 集計表 5-1-A から作成



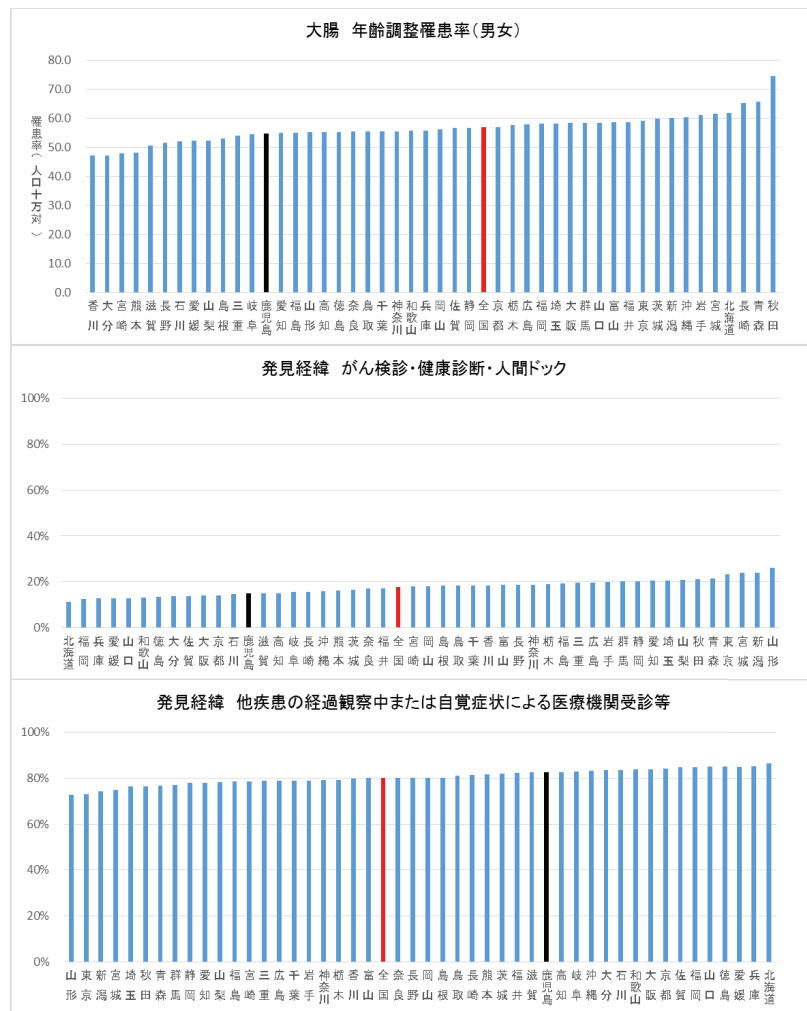
胃，大腸（結腸・直腸），肺，乳房，子宮頸部について，発見経緯を検診等と医療機関等に分けて集計し，昇順に都道府県を表示しました。

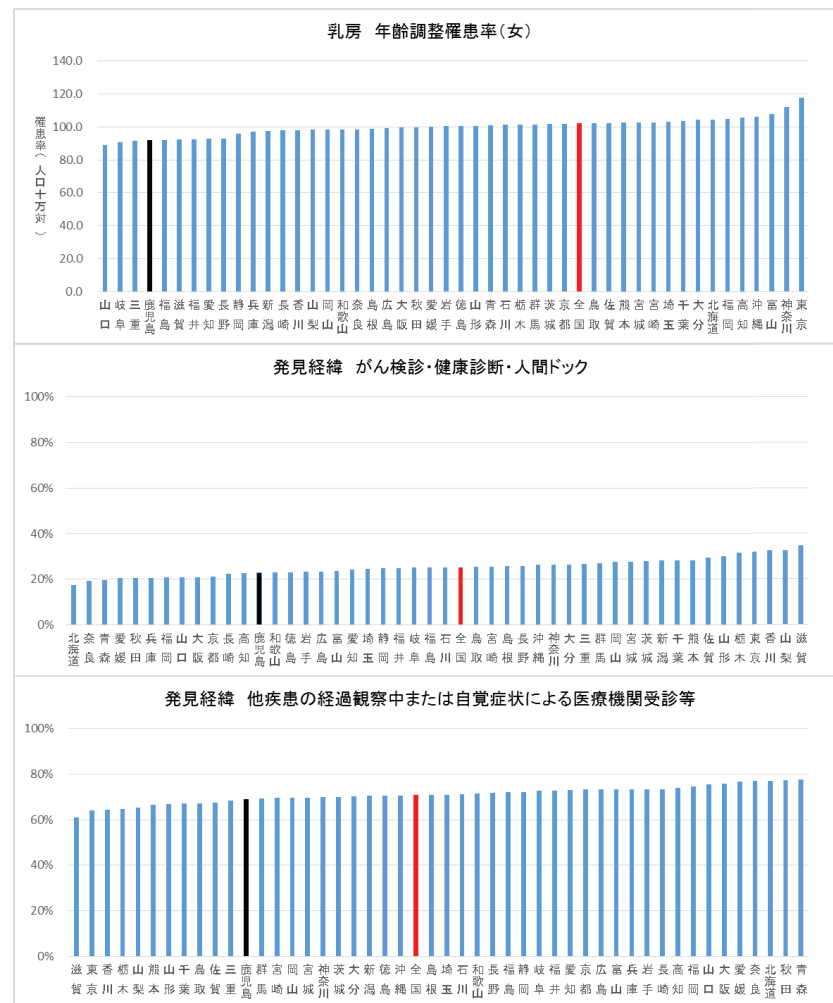
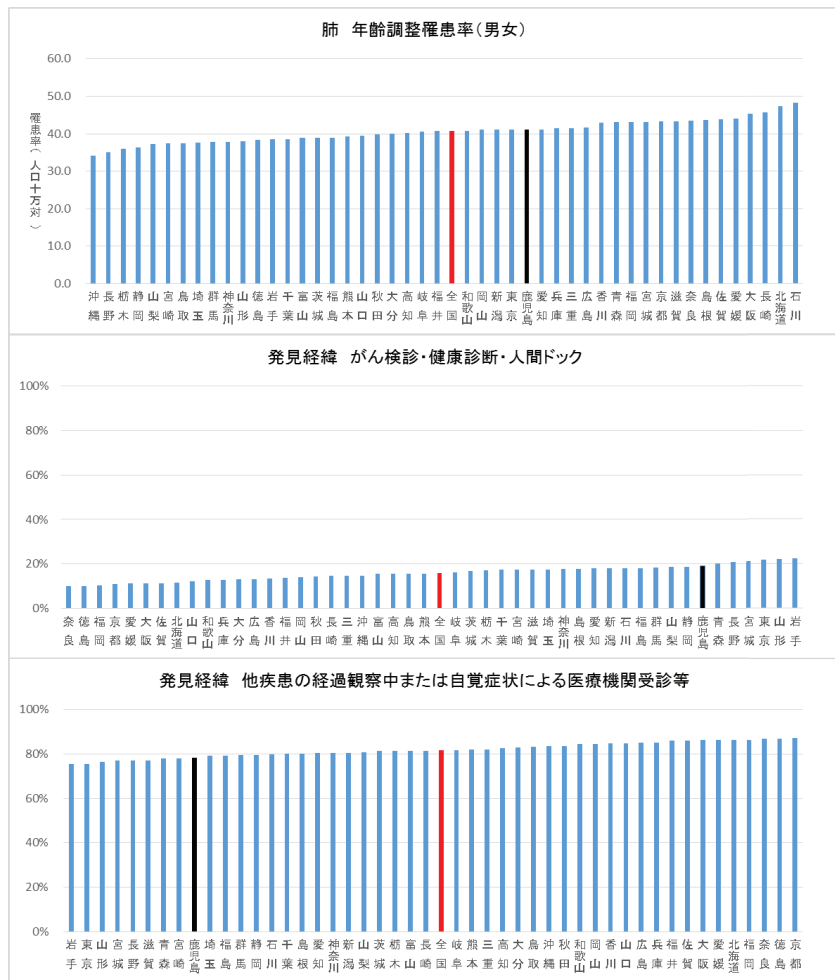
図8 対策型がん検診項目の発見経緯（対象はDCOを除く届出患者）（%）：e-Stat 選択条件/ファイナル/全国がん登録/全国がん登録/年次/全国がん登録罹患数・率/都道府県一覧/発見経緯24-A 上皮内がん除く：発見経緯（%）：都道府県別から作成

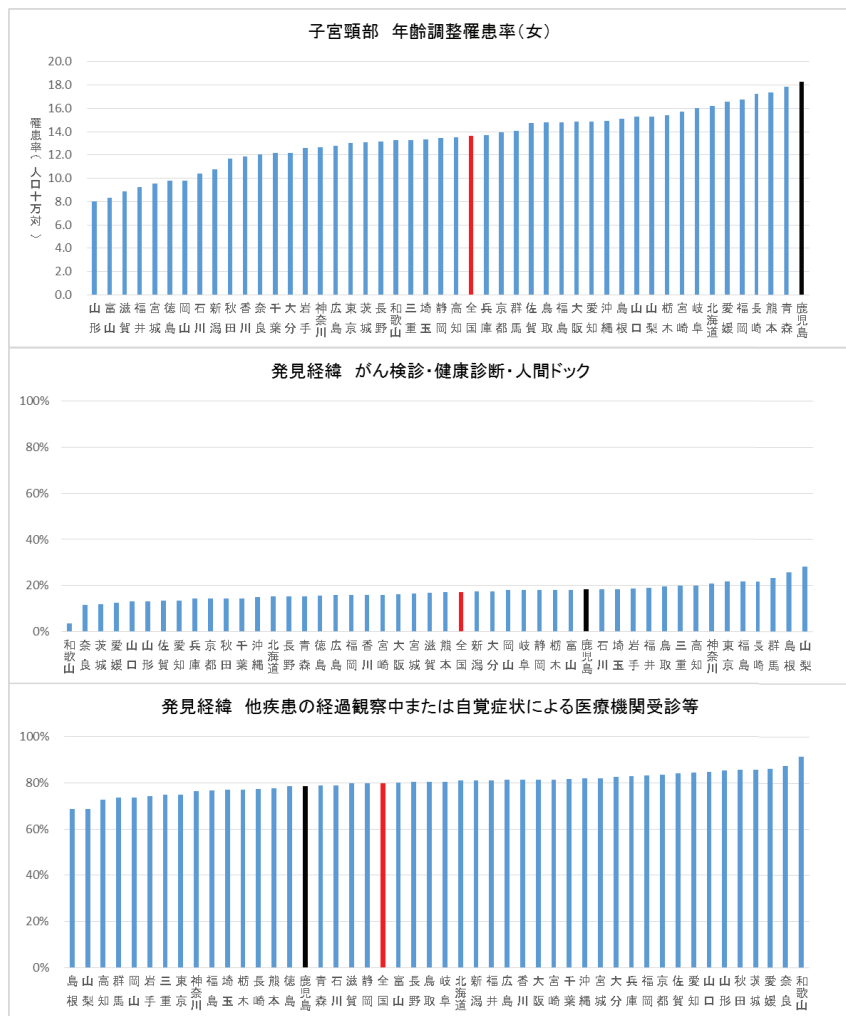
24-A-4胃 C16



24-A-5 大腸（結腸・直腸） C18-C20



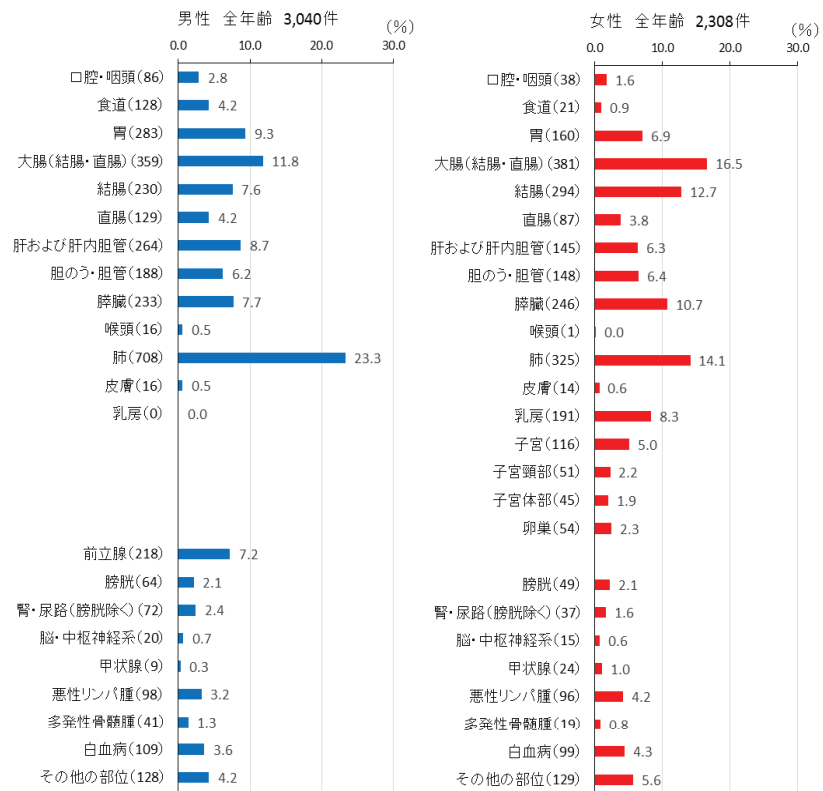




2 死亡の状況

鹿児島県で令和3年(2021)に、男性3,040人、女性2,308人、合計5,348人が、がんを原因として死亡しています。部位別では、男性では肺に続き、大腸、胃、肝および肝内胆管、膵臓が多く、女性では、大腸に続き、肺、膵臓、乳房、胃が多くなっています。

図10 部位内訳(%) : 集計表9から作成



■ がん死亡率の全国との比較

鹿児島県の胃がん死亡率は全国の数よりも低く、白血病死亡率は全国の数よりも高くなっています。この傾向は男女ともに共通です。

図11 部位別がん年齢調整死亡率（人口10万対）：集計表9から作成

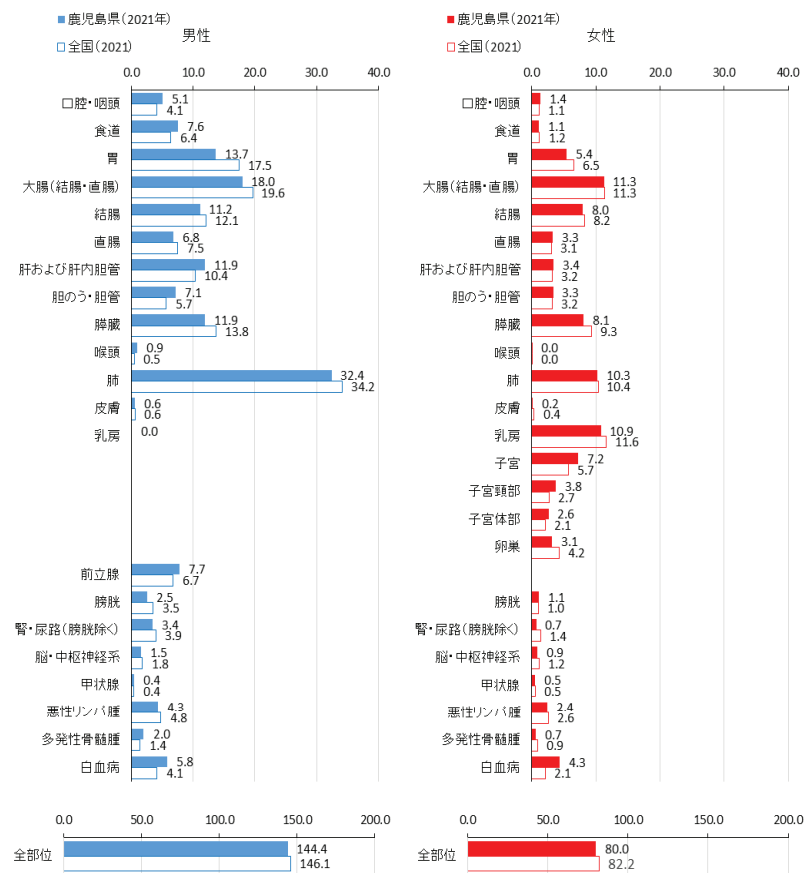


図12 部位別年齢階級別死亡率（人口10万対）：集計表11-2から作成

